

令和 6 年度

事業報告書

(概要版)

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

一般社団法人 **日本健康倶楽部**

令和6年度事業報告書

厚生労働省は、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとして掲げ、新たな国民健康づくり運動である「健康日本21（第三次）」を令和6年4月より開始し、「誰一人取り残さない健康づくり」及び「より実効性をもつ取組」を推進してきた。

当法人は、支部間の連携・協力体制の強化を図り、法人会員及び関連団体と協力しながら、国民の健康の保持・増進及び疾病予防のための各種事業を実施した。

令和6年度においても、受診者、事業者及び保険者等の信頼と安心を確保するため、内部精度管理事業として巡回健診等における機能評価を実施し、さらに外部機関の精度管理評価やPマーク付与適正更新認定を受けるなど、品質の向上に努めた。

各支部で起きた個人情報保護等に関する様々な問題に対し、内部点検、外部監査等々により顕在化した課題について重点的に施策を講じてきた。また、近年のクラウドサービスの普及や更なる拡大を鑑み、情報セキュリティマネジメントとしてクラウドサービス利用要綱を制定し、データの保護、保全に取り組んだ。

その他、健診データの集計・解析事業を継続して実施した。今後も、各種団体及び自治体の評価を得ながら更なる利活用を進め、各支部での健診データの集計・解析事業の推進に努めることとする。

職員が心身ともに健康でいることができる、魅力ある働きやすい職場環境づくりに向け、ハラスメント防止措置のための取組を行うとともに、育児・介護休業法の改正に伴う、育児や介護と仕事両立のための柔軟な働き方への取組を行った。

また、職員の人材育成として、技術、資質の向上のための各種分科会や研修会を実施した他、職員が業務を行ううえで大切な心構え、必要な自覚やマナー、業務中の問題への対応等に役立てるように「新・健診スタッフガイドブック」を発行した。

以上

1、 法人運営としての取組

(1)業務点検

- 1)業務フロー、細則、マニュアル等の点検及び整備
- 2)監事による監査の実施及び指摘事項についての業務改善の実施
- 3)事故・トラブル再発防止のための取組

(2)職場環境づくりへの取組

職場環境づくりの取組の一つとして、内部通報窓口（ヘルプライン）に加えて、第三者機関によるメンタル相談・ハラスメント通報受付窓口「くらぶホットライン」を、令和7年4月1日開設に向け整備した。

(3)品質向上月間

令和6年9月を「品質向上月間」とし、以下の通り実施した。

1)事業者(顧客)アンケートの実施

アンケート用紙並びに返信用封筒を支部から顧客へ配布した。

本事業者アンケートは、1年間を通して全顧客を対象に実施し、アンケート用紙または当法人ホームページ内の回答フォームより回答を得た。

回 答 数：152 票（令和7年3月31日時点）

2)受診者アンケートの実施

1支部あたり巡回健診150部、診療所50部の回収を目標に支部から受診者に回答用紙と、Web回答用のQRコードを配布した。

回 答 数：2,750 票（令和5年度は3,009 票）

接遇マナーについては、改善を求める意見はなく、各支部での品質向上への取組の成果が認められた。非常勤医師等に対する意見があり、診療所長会議で改善に向けて討議した。

3)インシデント・アクシデント報告

1支部あたり100枚以上の回収を目標に、報告用紙「インシデント・アクシデントメモ」を各支部に配布し、事務局で収集した。

報 告 数：987 件（令和5年度は1,168 件）

健診会場で発生したインシデント・アクシデントが492件でほぼ5割を占めていた。

健診現場における各支部でのインシデント・アクシデントを共有することで原因を究明し、各支部で予防策を講じるための材料とした。

4)啓発ポスターの作成及び掲示

トラブル防止の啓発用ポスター3種類を支部宛にそれぞれ送付し、各支部や健診会場で掲示した。

(4)個人情報保護体制の強化

1)プライバシーマーク付与適格性更新審査(付与の有効期間 令和6年8月11日までのため更新)

審査日：令和6年11月12日(火)／ 現地審査場所 和田山支部

審査員：一般財団法人医療情報システム開発センター

プライバシーマーク付与認定審査室 蒲池氏、渡邊氏

審査指摘事項を改善し、更新審査に合格した。

(付与の有効期間 令和6年8月12日から令和8年8月11日まで)

2)個人情報保護研修会

開催日等：令和7年1月24日(金) オンライン開催

対象者：支部長、内部監査員 他

- ①緊急事態への対応、事故報告について
- ②プライバシーマーク更新審査 指摘事項
- ③令和6年度内部監査実施について

3)プライバシーマーク内部監査

実施期間：令和7年2月

実施方法：「内部監査チェック表」に基づく支部間での実地調査、
および「セルフチェック表」に基づく自支部点検

(5)クラウドサービス利用要綱の制定

クラウドサービスの普及が拡大していることを鑑み、クラウドサービスを安全かつ効果的に利用するため、クラウドサービス利用に係る基本的な考え方を示す「クラウドサービス利用要綱」を、令和6年10月1日付で制定した。

2、各事業の活動報告

(1)健康増進啓発普及事業

1)健康情報誌「健康日本」の発行事業

生活習慣病等の予防など保健医療の最新情報や健康づくりの実践的なアドバイスなどを掲載した健康情報誌を、毎月約 8,500 部（通巻 673 号～通巻 684 号）発行した。

2)印刷物の配布等による啓発普及

健診受診勧奨等のリーフレット等を各支部が配布し、啓発普及に努めた。

3)ホームページの活用による啓発

当法人のホームページに健康情報誌「健康日本」の記事を一部抜粋し、健康レシピや体操、健康・医療情報をホームページに掲載した。また、各支部のホームページにおいても改修等を行い充実させた。

(2)セミナー、イベント等の開催・協力

1)支部が主催したもの

沖縄支部が、市内保育園関係者のための勉強会「保育園における食育活動の推進。食育を PDCA サイクルで実践する方法を学ぶ。」を開催した。

2)支部が協力、協賛したもの

支部が他団体に協力・協賛し、産業医契約先や事業所等での健康・健診に関する講演やイベントを行った。

(3)機能評価事業

1)『巡回健診評価機構』の活動

認定期間中の審査（調査指導委員による審査）

対象機関：16 機関

審査対象期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日

①調査表を基に書類審査及び認定更新のための実地調査を実施し、調査結果について各機関へ指導書を提示した。

②被審査施設は、指導書を基に改善を行い、改善処置報告書を提出した。

2)巡回健診評価機構以外の支部での精度管理事業の取組

①公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価、精度管理評価（X線画像評価・臨床検査・労働衛生検査等）

②一般社団法人健康評価施設査定機構 優秀施設認定

③福岡県集団検診協議会精度管理委員会 乳がん検診部会（マンモグラフィーX線フィルム）

(4) 調査研究事業

1) 当法人の健診データ集計を用いた解析報告

学会発表等に向け、当法人の健診データ集計の分析について検討を行った。

2) 支部で実施した調査研究事業(他団体に協力したもの)

- ①兵庫支部：大学等と共同により、高齢就労者の身体機能評価測定を実施
- ②鹿児島支部：歯科医師会と共同により、歯周病リスク検査を実施
- ③鹿児島支部：鹿児島市と共同により、鹿児島市 CKD 予防ネットワークの検討会への参加

(5) 健診データ集計と活用事業

1) 健診データ集計・解析事業

①支部の健診結果データを集計・解析した。

②全体集計、支部毎、業種毎、職種毎、地域毎及び時系列のクロス集計を実施し、支部集計編、性・年齢編、業種編、職種編、地域編及び時系列編の6編の報告書を作成した。

今後も健診データ分析の結果を内外に広く発信し、それに付随する様々な活動に繋げていくことで、健診や国民の健康づくりを推進するとともに、少しでも多くの事業所が健康経営に取り組めるよう支援する。

2) 支部で実施した健診データ等の利活用

健康保険組合へのデータヘルス支援、健康分析表の作成配布、歯科医師会へのデータヘルス事業活用のためのデータ集計等を行った。

(6) 研修事業及び人材育成事業

1) 研修会等の実施

①職員が業務を行ううえで大切な心構え、必要な自覚やマナー、業務中の問題への対応等に役立てるよう「健診スタッフガイドブック」(平成29年度発行)の改定版を発行した。

②インシデント・アクシデント報告書を利用した教育の実施

③当法人の研修規程に基づき、安全運転講習、特殊健診講習等の支部内研修を実施した。

また、職員の資質向上のため外部研修会等に参加した。

2) 分科会の実施

①渉外分科会

開催日等：令和6年8月9日(金) オンライン開催

内 容：健診料金見直しの検討、売上拡大に向けた新しい取組
渉外部門による特定保健指導の取組

②情報管理分科会

開催日等：令和6年8月23日(金) オンライン開催

内 容：健診システム及び業務支援・管理システムについて
「健診の課題とあるべき姿」富士フイルムメディカル㈱
クラウドサービスの利活用に関わる基本事項の検討

③保健指導分科会

開催日等：令和7年1月31日（金）オンライン開催

内 容：第4期特定保健指導活動報告（支部発表）

「特定保健指導における支部間及び生光会との連携の在り方」（医社）生光会

④医療技術分科会

開催日等：令和7年2月17日（月）オンライン開催

内 容：視能訓練士による講演及びレクチャー

「読影しやすい眼底画像を撮影するためのテクニック」

帝京大学医学部 医療技術学部視能矯正学科

眼科医師による講演及びレクチャー

「健康診断における眼底検査」「各支部の眼底画像評価」

帝京大学医学部 眼科学講座 准教授

⑤健診分科会

開催日等：令和7年3月7日（金）オンライン開催

内 容：弁護士による講演「健診現場におけるトラブルの減少に向けた方策」

弁護士 桑原博道先生（仁邦法律事務所）

各支部の健診時における受診者とのトラブルの減少に向けた取組事例

(7)健康増進実施事業 実施報告集計表

1)健康診断実施数

	地域健診	職域検診	学校健診	その他	合計
受診者数（人）	207,073	918,457	451,013	113,223	1,689,766

2)特定健診、特定保健指導実施数

	特定健康診査	特定保健指導
受診者数（人）	63,701	5,829

3)健康相談及び指導等実施数

	健康相談・食育指導等
受診者数（人）	1,117

(8)その他の事業

1)官庁、諸団体との協力・協調

国民健康づくり運動である「健康日本21（第二次）」への協力・協調

- ・厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」の各種啓発普及ポスターの掲示
- ・健康日本21推進全国連絡協議会の加入団体として、各種会議等に参加
- ・公益財団法人健康・体力づくり事業財団が発行した、健康・体力づくりに関する健康啓発冊子「健康手帳」の活用
- ・「健康日本21推進全国連絡協議会」プラットフォーム「note」を活用した、会員団体の情報共有と情報発信（「健康日本」の記事の一部掲載）

健康増進実施事業の職域健診に関わる情報の収集と周知

- ・「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」の傍聴と周知